

■運行概要



運行区間	大船駅東口～小雀地区～大船駅東口 (1周:約9.8km、約45分)
運行事業者	株式会社共同
運行形態	乗合バス(ワゴン型車両:乗客定員13名)
運行時間帯	平日6時台から18時台まで、11便/日 (土休日及び年末年始は運休)
運賃	大人:400円、小人:200円(未就学児:無料)

■コロナウイルス感染拡大防止に伴う一部運休 (令和3年1月25日～)

【概要】

- 大船駅東口15時発以降の便を運休

【工夫】

- 前回運休時と比較して、終発を2時間繰下げ
(前回:12時発 ⇒ 今回:14時発)
⇒午前中の用事の帰宅時間に運行することで、
極端な利用者の減少を回避

【今後の見通し】

- まん延防止等重点措置が解除された後の
利用状況を確認のうえ、
9月1日頃を目途に運行再開予定

■回数券の販売開始 (令和3年4月1日～)

【目的】

- 運賃支払い方法の簡略化による、
①乗車の円滑化、
②券が手元にあることによる利用動機の新出
- 寄付協賛を目的とした地域住民や企業等による購入:

【利用状況】(7月17日現在累計)

- 販売冊数: 130冊(うち町内会購入53冊)
- 利用枚数: 658枚(全乗車数の約3割)

■協賛金の応募状況（令和3年3月～）

【概要】

- 地域の「小雀バスの利用促進・運行継続に向けた活動」に対する協賛を募集
- 協賛金の主な使途
 - ①利用促進活動
(回数券の購入・配布、利用促進イベントの開催 等)
 - ②広報活動
(ポスターやチラシの印刷・配布 等)
 - ③その他運行継続に向けた活動
(運行事業者の経費補填 等)

【応募状況】（令和3年5月末現在）

- 法人協賛： 15法人
- 個人協賛： 99名

【今後の予定】

- 大船駅周辺の法人や小雀町出身の個人等、広報の対象者を地域外へ拡大
- コロナ禍の状況等を見ながら、町内会で買い上げた回数券を利用促進イベント参加者へ配布 等

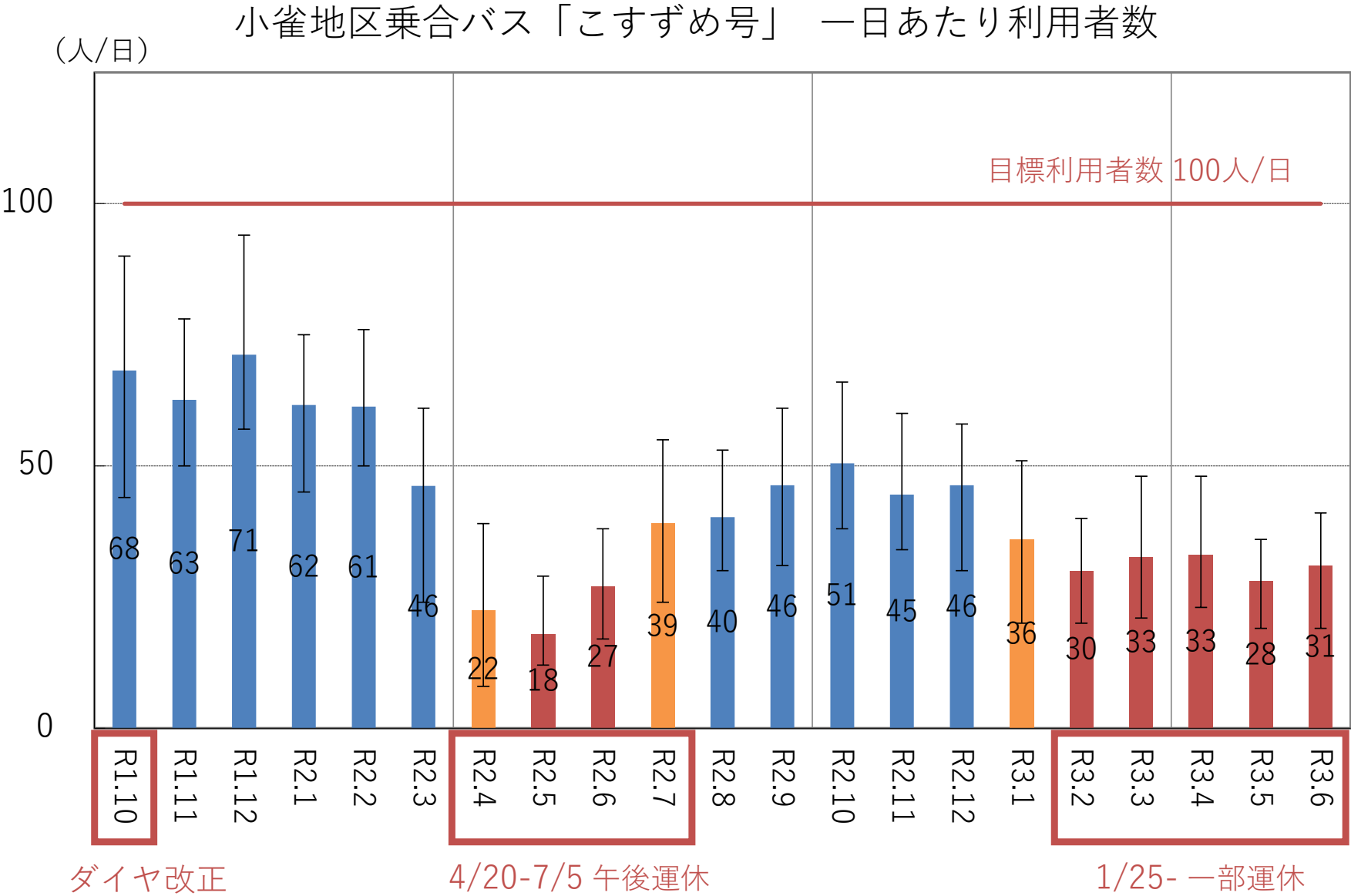
■今後の取組予定

- 利便性向上案についてアンケートを実施
例)大船駅西口発着(朝)、原宿方面延伸(昼)、終発の繰下げ(昼・夜)、乗降場の追加 等
- 賛同が得られた案について実施の可否を具体的に検討



図）協賛金募集の取組状況を本市WebSiteへ掲載

■ダイヤ改正以降の利用状況（参考）



■ 運行開始以降の利用状況 (参考)

小雀地区乗合バス「こすずめ号」 一日あたり利用者数

